

令和7年度広島県連合小学校長会研究主題

研究主題：「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る

日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

副主題：一夢や志をもち 他者と協働して

主体的に新たな価値を創り出す子どもを育成する学校経営一

【趣 旨】

現代社会は、グローバル情勢の混迷、気候変動による自然災害、AI などのデジタル技術の発展、少子高齢化など、様々な課題に直面している。このような不確実な時代において、子どもたちには生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生や未来を切り拓く力が必要とされている。

特に、「人生100年時代」の到来や労働市場の流動化、グローバル化の進展に伴い、異なる価値観を持つ多様な他者と対話し、問題を発見・解決できる未来の担い手を育てる必要性が高まっている。

このような時代においては、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、多様な人々と協働して知恵を出し合い、主体的に解決したり、創造したりして持続可能で豊かな未来を切り拓く力を身に付けられるようにすることが重要である。

そのため、学校教育においては子どもたちの個性や興味・関心を最大限に発揮させ、主体性、創造力、課題解決力などを伸ばしていく学びへの大きな転換を進める必要がある。そして、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、新しい価値を生み出し、よりよい持続可能な社会の創り手となる人材を育む学校教育を推進しなければならない。

広島県では、広島県総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基づき、子どもたちが自らの夢や志に向けて挑戦し学び続けられるよう、地域等の多様な人々と協働し現実社会における課題の解決策を創造する主体的な学習活動を通して、「広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」、「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値（イノベーション）を生み出すことのできる人材の育成」を目指している。

こうした中、校長には、確固たる教育理念と豊かな見識を持ち、未来を見据えた広い視野で学校を導くことが求められる。次期学習指導要領の方向性を踏まえ、将来の予測が難しい社会の中でも、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子どもたち一人一人に確実に育む学校教育の実現に向け、リーダーシップを発揮することや柔軟な対応力が不可欠であり、次の2つの視点をもとに取り組むこととした。

- ・ 明確なビジョンを構築し、全ての教職員と共有するとともに、学習指導要領にある生きる力を踏まえ、学校の特徴を生かしたカリキュラム・マネジメントを実施すること。また、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、授業改善や「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図ること。
- ・ 家庭、地域社会、関係機関との緊密な連携・協働体制を構築するとともに、地域の教育力を生かした透明性の高い学校経営を実現すること。同時に教職員の働き方改革をさらに加速させ、計画的・継続的な人材育成を通じて、教職員一人一人の専門性と意欲を高め、効果的に機能する組織体制を確立すること。

以上のことから、副主題を「夢や志をもち 他者と協働して主体的に新たな価値を創り出す子どもを育成する学校経営」と設定し、校長の果たすべき役割と指導性を究明しようとするものである。